

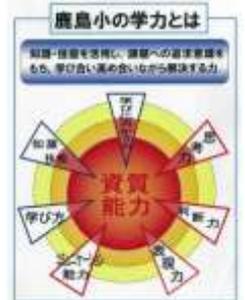
平成30年度 鹿島小学校 学校研究概要

1 研究主題

主体的に考え、学び合い、深める児童の育成
 ～ 多面的・多角的に考えるための指導の工夫 ～

2 主題設定の理由

本校は、開校時から3年間「学びの組織的実践推進事業 拠点校」の指定を受け、学力向上ロードマップを基に「確かな学力の育成」を目指し、分業・共有・PDCAサイクルの確立に向けた研究に取り組んできた。その結果、教師一人一人の学力向上への意識の高まりが見られ、学力向上への組織的な取組が実施できるようになった。また、鹿島小の授業スタイルとして、国語科・算数科における理解型・思考型授業が確実に実施されるようになり、確かな学力の定着につなげることができた。



そこで、今年度は、21世紀をたくましく生き抜く力の育成をめざし、新たに本研究主題・副題を設定し、これまでの成果のある取組を継続しつつ、本校がめざす学力が身に付いた子の育成に向け、学力向上ロードマップをベースにした学力向上に向けた取組を共有・分業、継続していく。

併せて、石川県教育委員会・中能登町教育委員会道徳推進事業の指定を受けており、今年度から教科化する道徳科の研究にも取り組んでいく。自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることで、更なる学力の向上を目指し、研究実践を重ねていく。

3 研究の方針

(1) 研究の全体像

<p><学校教育目標></p> <p>21世紀をたくましく生き抜く力の育成 ～3年間の取組の継承と創造～</p> <p><めざす児童像></p> <p>知識・技能を活用し、課題への追求意識を持ち、学び合い高め合いながら解決する子</p> <p>◇自ら学び よく考える子 ーよりよい解決の方法を考え実行する</p> <p>◇心豊かで 思いやりのある子 ー道徳的な判断力があり人との関わり方がわかる</p> <p>◇ねばり強く たくましい子 ー困難や失敗にもへこたれない</p>	<p><児童の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて授業に取り組んでいる。 ・活発に活動する。 ・自主性や積極性・創造性に欠ける児童がいる。
--	---

<研究主題>

主体的に考え、学び合い、深める児童の育成
 ～ 多面的・多角的に考えるための指導の工夫 ～

研究の柱		
重点1 ねらいの可視化・共有化	重点2 対話のある学び合い	重点3 学びの自覚を深める場

(2) 研究主題に迫るための研究の重点の内容

	重点1 ねらいの可視化・共有化	重点2 対話のある学び合い	重点3 学びの自覚を深める場
授業研究	<ul style="list-style-type: none"> 導入の工夫 ゴールを想定した課題の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 発問の工夫 ツールの活用 (ワークシート、まなボード等) 	<ul style="list-style-type: none"> 視点をもたせた振り返り 評価方法の工夫
学びの土台	<ul style="list-style-type: none"> 行事のめあて確認 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションスキルトレーニング きらきらばっちり 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の振り返り 生活ノート 思い出しノート
<p>【指導改善を進める体制】</p> <p>①共通理解・共通実践・・・ミニミニ会議 ・別業作成 ・教材教具のデータベース化</p> <p>②若手育成・・・・・・・・・・サブリーダー制 ・OJT</p>			

4 研究体制及び組織の役割

研究を進めるにあたって、学力向上ロードマップに示したように組織を構成し、別業を基に、全職員で取り組む。

5 研究授業の進め方

*道徳科で1回、国語科、算数科のどちらかで1回の研究授業を行う。

*低・中・高の各ブロックから1名が全体授業を行い、それ以外はブロック研とする。

*前回の課題を明らかにした研究授業とする。

全体授業

授業前

- ・全体で模擬授業を行う。
- ・並行学級は先行授業を行う。

授業参観時

- ・研究の重点を参観の視点とし、授業参観を行う
- ・抽出児童のグループでの話し合いの様子を記録する。

授業後（整理会）

- ・研究の重点にそって、抽出児童の授業中の様子やワークシートなどを基に課題を出し合う。
- ・次につなげるために課題を明確にする。

ブロック研

授業前

- ・ブロック各に指導案検討会を行う。

授業参観時

- ・研究の重点を参観の視点とし、授業参観を行う。
- ・授業研究部は少しの時間だけ授業参観を行う。

授業後

- ・研究の重点にそって児童のワークシートなどを基にブロックで整理会を行う。
- ・授業研究部は、授業のよかった点をバッチリタイムで紹介する。
- ・次につなげるために課題を明確にする。